

編集後記

皆様のお手元に届く頃には 2018 年の初秋になっていることと存じますが、2018 年 6 月号（第 35 巻第 1 号）をお届けいたします。JAFIA 事務局が九州大学大学院工学研究院応用化学部門から愛知工業大学工学部応用化学科に移転したことに伴い、本号から印刷所も新たになることと存じます。原稿が思うように集まらなかったため、背表紙がつけられるのかと案じています。

巻頭言では、JAFIA 新委員長に就任された手嶋紀雄 先生からご挨拶をいただきました。今任前委員長にもお願いしておりますので、次号で掲載できればと存じます。トピックスには山梨大生命環境の鈴木保任先生からご寄稿をいただきました。Vol. 34(1) (2017) に掲載された鈴木先生の解説「コンピュータ言語 Processing を用いる簡易なプログラム開発」と併せてお読みいただければ一層興味が深まることと存じます。2 名の学生さん（愛知工大院 三木雄太 様、徳島大薬 岡本和将 様）からもトピックスへのご寄稿をいただきました。報告には、前 JAFIA 事務局において JFIA の J-STAGE 登載のためにご尽力いただいた石松亮一 先生に「JFIA の J-STAGE 登載について」と題してご執筆いただきました。さらに、3 名の学生さん（徳島大院薬 柿内直哉 様、愛知工大院工 加藤大貴 様、東大院理 西口知輝 様）から PACCON 2018 あるいは Asianalysis XIV への参加報告をいただきました。今後も学生諸氏からの積極的な投稿を期待しております。徳島大院薬の竹内政樹先生には、「わかりやすい機器分析学 第 4 版」（廣川書店）の新刊紹介をご執筆いただきました。薬学生向きの機器分析学書ですが、田中と竹内が「原子スペクトル分析法」と「電気化学分析法」の章を共著しており、他の薬学分析化学書には見られない濃い内容であると自負しておりますので、書店等でご覧いただければ幸いです。学会情報も竹内先生にお願いしました。

今回特に力を注いだのは、和文・英文の投稿規定の改定です。J-STAGE 登載を機に広く海外からも投稿していただけるよう、現在の原稿カテゴリーや投稿手段（郵送ではなく電子メール）に投稿規定を合わせる必要性を感じました。2017 年度第 2 回編集委員会（メール会議）に原案を提出し、編集委員の皆様からのご意見ご指摘をもとに修正を重ね、メール会議での承認を経て、新しい投稿規定（和文）と Submission Rules（英文）を公表するに至りました。Submission Rules の作成にあたっては、徳島大学事務局学務部国際課の竹内光恵 博士に英文を添削していただきました。これらの改訂に併せて、投稿の手引き、Introduction to Authors、投稿カードも修正いたしました。JAFIA 事務局にお願いし、JAFIA ホームページでも公表させていただきたいと存じます。

昨年度（第 34 巻）は研究論文（原著論文）の掲載数がわずか 2 報でしたので、JFIA Selection Award（論文賞）の 2017 年度審査は行いませんでした。J-STAGE への登載と新 Submission Rules の制定により、今後は海外からの原著論文の投稿が増えることを願っています。現状では JAFIA 委員長と JFIA 編集委員長の関係者からの寄稿が少なからぬ割合を占めていますので、JAFIA 会員の皆様におかれましても、JFIA の存続と発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

JFIA 編集委員長 田中秀治